

(すぎもと たつや)

杉本 達哉

所 属 八千代エンジニアリング
株式会社

資 格 技術士 (建設部門: 都市及び
地方計画)、博士 (工学)

対 象 イン フ ラ

道路、河川

専 門 分 野

都市インフラの経済分析、交通インフラ
の経済分析

対 応 可 能 地 域

全国

連 絡 先

tt-sugimoto@yachiyo-eng.co.jp

※メール送付の際は「Σ」を「@」に変えて送信ください

相 談 方 法

オンライン、電話、メール

◆ 経歴・各種委員・講師経験など

- 2007年3月 岐阜大学工学部社会基盤工学科 卒業
- 2009年3月 岐阜大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 修了
- 2009年4月 八千代エンジニアリング株式会社 入社
- 2019年12月 土木学会 土木計画学研究小委員会
～2022年12月 権利と効率のストック効果に関する研究小委員会 委員
- 2021年7月 土木学会 土木計画学研究小委員会
～2024年6月 革新的技術導入における合意形成研究小委員会 委員
- 2023年3月 岐阜大学大学院工学研究科(博士課程)工学専攻 修了

◆ 分析支援可能な知識・経験

【主な分析実績】

- 幹線道路整備の効果分析(経済波及効果、人口分布変化 等)
- 都市内交通と土地利用の相互作用を考慮した交通基盤整備の効果分析
(交通・立地変化 等)
- 浸水リスクに応じた立地変化分析 など

【主な分析スキル】

- 空間経済分析 (SCGEモデル, 交通立地統合モデル など)

【これまでの経験をふまえたメッセージ】

- インフラは、現在のみならず将来の住民の暮らしと地域経済を支える基盤です。そのストック効果を見える化・最大化するには、現場データに基づく評価とご担当職員の適切な理解が重要と考えます。実務と研究の両面で蓄積した経験に基づく技術的な助言により、効果の「測り方・伝え方・高め方」を一体的に支援します。

◆ 業務・学術論文実績

【業務実績】

- 公共交通ターミナル整備の空間経済分析に関する研究開発（国土交通省 国土技術政策総合研究所）
- 乙川リバーフロント地区整備計画検証業務（愛知県 岡崎市）
- 基本計画調査（名古屋港の地域経済に及ぼす影響調査）（名古屋港管理組合）
- 平成28年度中九州横断道路計画検討業務（国土交通省 九州地方整備局大分河川国道事務所）
- 浸水リスクの変化とその提示内容改善が将来の人口分布・土地利用に与える影響とそれらを考慮した水害リスク軽減対策に関する研究（国土交通省 水管理・国土保全局）
- 気候変動下の氾濫原の状況変化を踏まえた洪水被害特性試算業務（国土交通省 国土技術政策総合研究所）
- リニア影響調査（第二次調査）業務委託（一部債務）（山梨県）
- 単独公共単独7軸道路整備推進事業分割1号（整備効果検討業務）（群馬県）

【学術論文実績（査読付き）】

- Sugimoto, T., Takayama, Y., and Takagi, A.: A quantitative spatial model for evaluating transport-induced spatial reorganization, Transport Policy, Vol.172, 103738, 2025.
- 杉本達哉, 杉浦聡志, 高山雄貴: 交通混雑を考慮したFujita and Ogawa (1982) モデルに基づく定量的都市経済モデルの開発, 土木学会論文集, Vol.79, No.9, 23-00091, 2023.
- 杉本達哉, 高田観月, 高山雄貴, 高木朗義: 空間経済学に基づく地域間輸送改善の長期的影響評価手法の開発, 土木学会論文集, Vol.79, No.4, 22-00115, 2023.
- 杉本達哉, 高山雄貴, 高木朗義: 交通基盤整備の長期的影響評価のための都市経済分析: 浸水リスク増大による経済活動の空間分布変化, 交通工学論文集 (特集号), Vol.9, No.2, pp.A_186-A_196, 2023.
- 杉本達哉, 高山雄貴, 高木朗義: 集積の経済を考慮した都市経済分析手法の開発, 土木学会論文集D3(土木計画学), Vol.78, No.4, pp.166-177, 2022.
- 杉本達哉, 神永希, 加藤秀弥, 高森秀司, 佐藤徹治: 都市構造のコンパクト化施策の有効性検討のための実用的な都市内人口分布推計モデル, 土木学会論文集D3(土木計画学), Vol.74, No.5, pp.I_439-I_451, 2018.
- 石徹白伸也, 天方匡純, 高森秀司, 島田高伸, 神永希, 杉本達哉, 佐藤徹治: 将来の都市構造を考慮した水害リスク軽減対策に関する研究, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.74, No.3, pp.44-61, 2018.

◆ 取組事例

- 立地適正化計画や都市・地域総合交通戦略など, 都市構造と交通を一体的に捉える計画で活用可能な分析手法を開発しています。

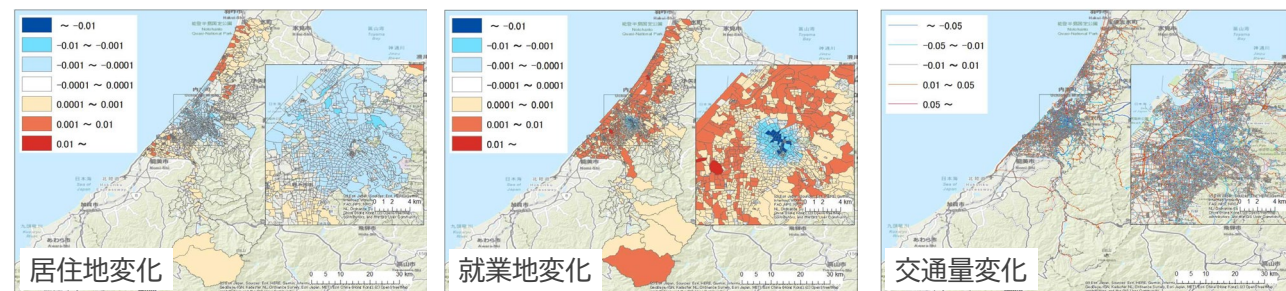


図 分析例: 交通基盤整備による立地変化や交通量変化